

栃薬工だより 第21号

■平成18年度 定期総会開催される

当会の平成18年度定期総会が、去る4月24日（月）、15時30分より、宇都宮市戸祭元町の「アピア」にて開催されました。

総会は松谷副会長の司会進行で定刻どおり開会となり、佐藤会長のあいさつと、来賓の栃木県保健福祉部薬務課の宇賀神課長、当会顧問の上條元会長、荒井前会長の紹介とあいさつの後、議事に入りました。

当会の規約により、佐藤会長が議長となり、事務局から出席者の報告（正会員58社のうち出席33社、委任状提出16社）があり会議の成立が確認されました。議長が議事録署名人2人（血液センター篠原氏、(株)ナカニシ金子氏）を指名したのち、第1号議案「平成17年度事業報告」と第2号議案「平成17年度収支決算報告」が一括上程され、遠藤監事の監査報告のあと、慎重に審議された結果、原案どおり承認されました。続いて、第3号議案「平成18年度事業計画（案）」と第4号議案「平成18年度収支予算（案）」についても同様に原案どおり可決されました。

さらに、第5号議案の「役員改選について」では、規約に基づき、会員の互選により理事と監事が選出され、そのあと、選出された理事の互選により会長、副会長が選出されました。なお、正副会長は、佐藤会長と松谷副会長が留任、町田副会長と中野副会長が新任です。（役員名簿は別途記載）



会長あいさつ



来賓あいさつ



審議の様子



新役員あいさつ

■優良従業員表彰式

議事終了後には、例年どおり優良従業員の表彰式が行われました。この表彰式では、当会会員である各企業において、長年、従業員として勤務し、その成績が他の模範となる方を、定期総会席上で表彰するものです。

松谷副会長の受賞者選考経過説明のあと、佐藤会長より受賞者14名へ表彰状と記念品が贈呈されました。

今回の受賞者は表のとおりです。



優良従業員表彰受賞者一覧

(敬称略)

勤続30年以上

ペンタックス(株) 益子事業所	萩原 信一郎
(株)シーボン 栃木工場	久保井 美代
(株)シーボン 栃木工場	吉田 久江
不二ラテックス(株) 栃木工場	相川 昭一
MPテクノファーマ(株)	塚田 太郎
MPテクノファーマ(株)	岩崎 徹正
宇津救命丸(株) 高根沢工場	小林 理夫
宇津救命丸(株) 高根沢工場	田村 啓

勤続20年以上

(株)シーボン 栃木工場	山口 一夫
日研化学(株) 真岡工場	松本 タツ江
日研化学(株) 真岡工場	大山 洋子
東芝メディカル製造(株)	市川 勉彦
グラクソ・スミスクライン(株)	菱田 克彦
グラクソ・スミスクライン(株)	菅沼 一男

役職名	氏名	会社名	役職名	氏名	会社名
会長	佐藤 友延	グラクソ・スミスクライン(株)	理事	榎本 博光	栄研化学(株)
			理事	河崎 哲彦	MPテクノファーマ(株)
副会長	町田 実	中外製薬工業(株)	理事	佐藤 繁喜	ジェーピーエス製薬(株)
副会長	松谷 正光	マニー(株)	理事	塚原 澄子	シーボン(株)
副会長	中野 秀美	持田製薬工場(株)	理事	平林 康文	日研化学(株)
			理事	大島 博	日本サーファクタント工業(株)
監事	脇 義博	花王(株)	理事	戸室 圭三	日本理化学薬品(株)
監事	遠藤 邦和	全薬工業(株)	理事	田中 哲好	久光製薬(株)
監事	古川 浩	東芝メディカルシステムズ(株)	理事	土井 克彦	フォルテグロウメディカル(株)
			理事	郡司 定三	不二ラテックス(株)

新役員あいさつ

新たに副会長、理事に就任された役員の方々からご挨拶をいただきました。

中外製薬工業(株)

町田 実 様



この度、前任の佐山より引き続いて、副会長を務めさせて頂く事になりました町田です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

弊社は、本年5月1日をもちまして中外製薬(株)から分社独立し、中外製薬工業(株)宇都宮工場となり、新たに操業を開始致しました。従前より県薬務課、監督官庁、並びに薬事工業会の会員の皆様には、多くのご支援とご指導を頂きながら、注射剤の生産を行ってまいりましたが、新たにバイオ原薬の生産機能を併設し、原薬から製剤までの一貫した生産工場として生まれ変わろうとしております。

私は昭和56年に入社以来、創薬探索研究、製剤開発研究並びに工業化研究を経て、生産部門を担当することになり、宇都宮工場には本社4月に工場長として赴任しました。更に薬事工業会副会長としての重責を感じながら、医療に貢献すべく日々を送っております。工業会の活動を通じて、会員各社の方々と意見、情報交換ができれば幸いです。微力ではございますが、栃木県薬事工業会の発展のために貢献できるように努力してまいりますので、皆様のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

持田製薬工場(株)

中野 秀美 様



この度、栃木県薬事工業会の副会長を務めさせていただくことになりました、持田製薬工場の中野です。

当社は、1991年6月に静岡県より大田原市に錠剤工場を移設以来、当会に参加させていただき、会員皆様に多くのご支援をいただきながら操業してまいりました。2003年に注射剤工場を移設することで持田製薬グループの医薬品製剤部門として集約し、2005年4月1日をもって持田製薬株式会社より分社独立し、大田原市に本社を構えました。

栃木県が医療関連製品の生産県として、確固たる地位を得た現在、当会の意義がますます重要になるなか、微力ではありますが会の運営にお役に立ちたいと思います。激動する医療環境、多様化する生産体制などに対応するため、会員間の一層の情報交換が必要な時であり、大いに議論し、協働すべき時期であると思います。薬事工業会の発展のために貢献できるよう努力して参りますので、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

栄研化学(株)

榎本 博光 様



この度、前任の高坂から引き継いで薬事工業会の理事を務めさせて頂く事になりました栄研化学野木工場の榎本です。

弊社は、栃木県の野木町工場団地に、次いで大田原工業団地に工場を設けて主に体外診断用医薬品（臨床検査薬）を生産して、国内外に販売を行っております。野木工場で生産を開始して以来、栃木県薬務課をはじめ薬事工業会会員の皆様から終始、ご指導、ご支援を賜り、今日に至っておりますことを深く感謝申し上げます。体外診断薬を生産している会社は、薬事工業会では非常に数少なく、この事業領域での経験を活かして薬事工業会の発展に貢献できるよう、微力ではありますが一生懸命務めてまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



この度、薬事工業会の理事を務めさせていただくことになりました。
 弊社は、おかげさまで今年40周年を迎え、社業も順調に推移しております。私は昭和54年に入社し、製品開発に従事し、県薬務課、薬事工業会のご指導、ご支援をいただいております。平成11年より、(株)シーボン栃木工場の工場長に就任し、現在に至ります。
 まだまだ未熟ではございますが、皆様のご指導、ご支援を賜りながら、薬事工業会発展のため、微力を尽くしたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

■平成18年度 一般会計収入支出予算

定期総会で可決された当会の平成18年度一般会計予算は次のとおりです。

収入の部

科 目	予算額
1 会 費	5,700,000
2 県からの受託金	450,000
3 雑 収 入	1,066
4 繰 越 金	2,138,934
収入合計	8,290,000

支出の部

(単位：円)

項 目	予算額
1 会議費	900,000
1 定期総会	650,000
2 理事会	250,000
2 事務費	2,900,000
1 職員費	2,000,000
2 事務費	850,000
3 事務局活動費	50,000
3 事業費	3,140,000
1 研修会費	740,000
2 表彰費	250,000
3 視察研修費	800,000
4 啓発費	500,000
5 会報発行費	400,000
6 災害時避難所常備薬備蓄事業費	450,000
4 負担金	250,000
1 事務所負担金	200,000
2 各種協議会等	50,000
5 記念大会等準備積立金	100,000
6 予備費	1,000,000
支出合計	8,290,000

事務局職員の紹介

転 出			転 入		
役職名	氏名	転出先	役職名	氏名	前職
課長補佐 (主幹兼 課長補佐)	薄井 仁一	県北健康福祉センター	課長補佐 (総括)	小平 茂男	薬務課 課長補佐 (温泉・薬物対策担当)
主 任	橋本 和洋	県北健康福祉センター	主 査	荒井 顕義	県東健康福祉センター
技 師	角野 文代	保健環境センター	主 任	大橋美佐子	消費生活センター
事務局員	福田千江美	退職	事務局員	大内 妙子	新規任用

3回目の今回は県内の「おそば屋さん」をご紹介します。

栃木県内では、県内各地どこへ行ってもおいしいそばが食べられると思います。全国的にみれば「栃木のそば」はあまり有名ではないかもしれませんが、個人的には薬事工業会の生産高と同様、全国トップレベルにあると思っているのですが・・・。

まずは県北方面ですが、那須町伊王野にある道の駅「東山道伊王野」のおそば屋さんでは、もりそばに『水車そば』と『田舎そば』の2種類があります。特に、水車そばは、ほんのりと緑色がかっており、甘味が感じられるそばです。お店の方になぜ緑色なのかを聞いたところ、そばの実が完熟する前に刈り取って、水車でまわす石臼で挽いたそば粉を使うのだそうです。店内は、土日はもちろん平日でも結構混雑しているので、混雑しない時間帯に行くことをお勧めしますが、客の回転は速いので、行列ができていても、店内の手打ち実演コーナーを眺めていればすぐに順番がまわってくるでしょう。さらに、道の駅の場内には農産物直売所などもあり、地元でとれた新鮮な野菜や果物を購入できます。



また、矢板市役所前の「ふじや」の『大冷やしそば』は冷たいそばがどんぶりに入ってできます。（その上にかき揚げが乗っている）そして、別のどんぶりに入ったあたたかいつゆ（一般的なもりそばのつゆとは異なる薄味）につけて食べます。かき揚げのパリッとした感触もおいしいのですが、つゆがしみていくにしたがってドロドロになる感触も、捨てがたい味です。このようなメニューは県北地域の他の店でもよく見かけます。（どこが元祖なのでしょうか？）

県南地区で、大勢でそばを食べたい場合には、出流山満願寺（栃木市内）の門前に何軒かあるそば屋で、『一升（二升でも可）そば』などを頼むといいでしょう。直径50cmもあるかと思われる大きなザルに、もりそばがたくさん乗ってきて、初めての方はびっくりすると思いますが、多くのお客は案外全部たいらげてしまうようです。



▲ 報徳庵

日光方面へ観光のついでなら、旧今市市の杉並木公園内にある「報徳庵」や霧降高原入り口にある「やまがたや」というおそば屋さんでお食事はどうでしょうか？特に、報徳庵は古民家の風情ある建物で、その縁側で食べればそばの味もさらにおいしく感じられるでしょう。

さて、そばはもともとヘルシーな食べ物だと思いますが、さらにヘルシーに食べたいという方には、もりそばの中に大根が入った『大根そば』をおすすめします。県庁のすぐそば（とちぎテレビ隣）にある「たちばな」や、県南地区では佐野市にある「かさはら」という店にこのメニューがあります。なお、たちばなの大根は生、かさはらの大根は茹でてあり、同じ大根そばというメニューでも全く違った感触です。

このように、県内ではどこへ行ってもおいしいそば屋が必ずと言っていいくらいありますから、各地を訪れたときには地元の方に「おいしいそば屋さん」を尋ねてみることをおすすめします。そして、隠れたそば屋さんの名店を見つけたときには、ぜひ情報をお願いいたします。（なお、那須町伊王野の水車そばの内容は、当会監事の遠藤様（全薬工業(株)）からの情報に基づき、事務局職員が取材してきたものをまとめたものです。）

編集
後記

今年4月から薬事工業会の一員となりました、大内妙子です。この時期は休日になると釣りに出掛け、新緑の中でリフレッシュしています。ただ、はじめたばかりなので、まだ1匹も釣れたことがないのですが、。。。。
至らない点もありますが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

発行日 平成18年6月22日
発行所 栃木県薬事工業会
宇都宮市戸祭元町1-25
栃木県保健福祉会館内
TEL (028) 650-6163
E-mail: yakumu01@beige.ocn.ne.jp